

Top Eye

Spring 2014 **4-5**



At the heart of the image

第21回
Top
Teacher
賞

「初めての春」渡辺 裕一

(岐阜県立東濃フロンティア高等学校 教諭)



大西先生 お疲れ様でした!

大西みつぐ先生が、今号を最後に「フォトフォトサロン」の審査員を卒業されます。後任の小林紀晴先生との対談を5~6ページに掲載。ぜひお読みください。

ガンバレ写真部!

楽しさの達人たち、実力急上昇中!!

福井県立丹生高等学校

視想講座 VOL.270

見慣れた日常を改めて見つめてみよう

小林 紀晴

めざせ傑作!!

わくわくデジタル写真ゼミ 第6回

「わくわく」な

ポートレートを撮ろうよ!

Nikon News

第62回三ッコーラルフォトコンテスト

第4部『U-31』作品募集開始!!

TopEye配布校の一括応募受付も開始!

D4S、Nikon1 V3など話題の
新機種もチェック!



今年度から
入賞枠拡大!!

6月号からフォトフォトサロンの「もう一息DE入賞」が
「準佳作」として入賞扱いに。賞状も発行されます!

P3を見てね!

Nikon College
ニコンカレッジ

先生だけの フォトフォトサロン

審査員 大西みつぐ

1952年東京・深川生まれ。「遠い夏」で第18回木村伊兵衛写真賞受賞。ニッコールクラブ顧問、日本写真家協会会員、東京総合写真専門学校講師、武蔵野美術大学非常勤講師。



さまざまな表現方法のにぎやかな対決／大西みつぐ

最近写真部顧問の先生方どうしの情報交換もSNSなどで盛んに行なわれているようで、今回もこのコンテストに「応募するぞ!」という声が続々と届きました。生徒さんたちの交流だけでなく、先生方もこのTopEyeを通してつながっていただければ幸いです。ぜひいろいろなご意見をお寄せください。

さて、先日行なわれた「第2回TopEye高校生写真サミット」の熱い時間に比例するように、今回も賑やかな作品が数多く並びました。全体的にプリントの質が昨年より向上しているように感じたのと、表現の意図が明確になってきているものが増えています。生徒さんたちの写真からの刺激を十分にもらっているのだらうと推察されます。入賞作品にはストレートな写真と独特の表現方法による写真とが拮抗している様子が伺えるかと思えます。今回は新しく審査を担当されることになった小林紀晴先生の賞も特別に設けました。きっと小林先生が今後どんな写真を選ばれるか、生徒のみならず興味津々といったところでしょう。ということで、私はフォトフォトサロンの審査を卒業することになりました。長い間ありがとうございました。

TopTeacher賞



「初めての春」 渡辺 裕一(51 歳)

岐阜県立東濃フロンティア高等学校
●デジタル一眼レフカメラ
●50mm ●Aオート (f/4) ●ISO100

なんでもない記念写真...として見てしまえばそれだけのこと。しかし、とても温かく幸せそうで、ほっとさせられる一枚です。背景は満開の桜。それらは絞り値を小さくしたこときれいにボケて、家族をしっかりと浮かび上がらせています。この3人を丁寧に写してあげようという気持ちがまず伝わってきます。そしておそろいのピンク色のシャツがきれいです。少し明るめの露出にしたためか、軽やかな春の感じがします。このあたりをプリントできれいに表現しています。説明によりますと、このご家族は初めて桜を見たとのこと。そうした喜びと幸せ感がストレートに伝わってきます。写真の基本ともいえる人と向かい合っていくことの大切さを教えてくれます。

今回受賞した作品は、昨年の4月に撮りました。自宅からほど近い野球場の下に、100mほどの桜並木があるのですが、そこに花見に来ていたフィリピン人の親子をお願いして撮らせていただいたものです。おそらく異国の日本に初めて来た若いパパとママ、そして生まれたばかりの赤ちゃんの目に、桜の花はどう映ったのでしょうか。そんな事を考えながら、数枚シャッターを切りました。私は人の気持ちにがにじみ出る写真を撮りたいと常々思っています。大西みつぐ先生にこの作品を選んでいただいて大変感謝しています。これからもこんな写真を撮り続けて行きたいと思います。



受賞の
コトバを
どうぞ!

表紙に大きく載ってるよ!!

小林紀晴賞

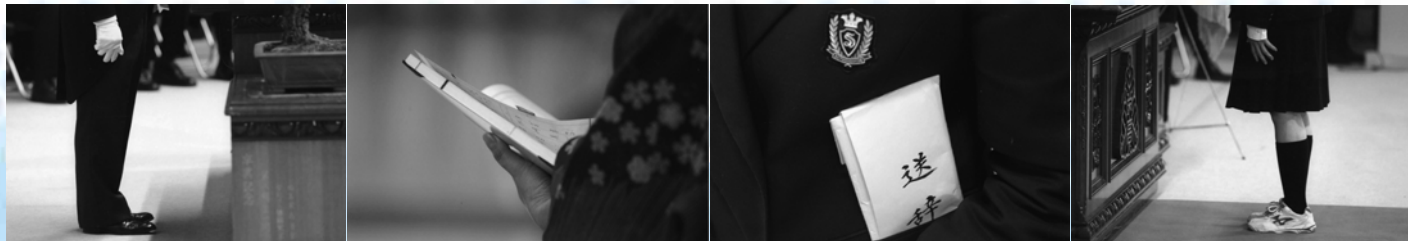


新審査員の小林紀晴先生に審査に加わっていただいて選出した、今回のみの特別賞です。

「送る日」 高橋 朗(52 歳)

埼玉栄高等学校
●デジタル一眼レフカメラ
●70-200mm
●Aオート (f/4.0、3.2、4.0、3.2)
●ISO3200、2000、1000、3200

卒業式を捉えた組写真です。式次第の順に淡々と写真が並んでおり、どれも切り取り方が見事です。モノクロで捉えたことも成功しています。誰の顔も卒業式全体の状況も写されていませんが、だからこそ想像をかき立てます。卒業生、在校生、先生方、そして父兄の方々の表情、声まで想像できます。きっと、卒業式は誰にとっても特別で、普遍的な要素があるからでしょう。特に最後の一枚、卒業生の指先からはさまざまな想いを読み取りました。全体に流れる独特の緊張感も心地よいです。



「二人の小宇宙」藤井 孝美(52歳)

山口県立下松高等学校
●デジタル一眼レフカメラ
●28mm ●Aオート (f/1.8) ●ISO100

夏の夜のホタルの飛び交う写真はホタルの光跡も大事ですが、全体の色合いがいかに美しくに関わります。長時間であればノイズの問題も発生します。グレーを主体としたどんよりした写真ではイメージはちょっとよくありません。この写真はこの青さがまさに「宇宙」のようで美しいですね。一本の太い光跡も不思議な感じがします。中央の二人は生徒さんとのこと。開放F1.8、ISO100で5分30秒間の露光。そこにももらったという協力なくして表現できなかった世界でもありますね。さてさて、そんな生徒さんたちもしっかり写真を写せたのでしょうか?



「ホウカゴ」三浦 陽(49歳)

千葉県立四街道高等学校
●デジタル一眼レフカメラ
●70-200mm ●Aオート (f/5.6、3.5、4.0)
●ISO400 (3点とも)

テーマとしてはとてもスタンダードなものです。全体の色合いをしっかりと統一させてまとめています。まずそのことが入選となった直接の要因です。風景なり現象なりをそのまま並べていくのではなく、組写真としての連なりをどこに持たせるのが大事。ズームレンズの望遠域で並べただけではイメージは少し希薄だったのですが、この色合いに大いに助けられたわけです。撮影時、画像補正、プリントワークなど丁寧な仕事だと思います。それと、学校全体をやや俯瞰する視点というのが、まさに高校の先生らしい優しいまなざしを印象づけました。

佳作

「気球に乗ってどこまでも」 齊内 敦子(32歳)

滋賀県立膳所高等学校
●デジタル一眼カメラ
●45mm ●A オート (f/9.0)
●ISO200

露出オーバーの写真あまり褒めたりしない私ですが、これはとてもきれいです。はじめからこうしたイメージを頭に描かれていたというよりも、実際に気球に乗った時の体験が生かされているのでしょう。浮遊感とキラキラした光の中に遊んでいる感じが伝わります。微妙なフレーミングではありますが、気球の全体が出ていないというところが秀逸です。また下に花をしっかりとあしらっているところも上手でおしゃれです。



「颯 (HAYATE)」高見沢 徹(47歳)

京都府立西舞鶴高等学校
●デジタル一眼レフカメラ
●17-50mm
●Sオート (1/100秒)
●ISO500

PLフィルターをつけたため、鮮やかな発色の空と白い運動着などのコントラストが強烈です。まさに体育祭。しかも、流し撮りの技法で動感たっぷりの表現。足の形がきれいに決まりました。しかし、先頭のランナーの手元などは少し止まっているものの、全体がブレ過ぎてしまったようです。それはそれでとても元気が伝わります。まさに「颯」。こうした思い切った表現をどんどん取り入れて撮って欲しいと思います。

「素顔のままで」 池田 友理(33 歳)

沖縄県立浦添工業高等学校
●デジタル一眼レフカメラ
●50mm ●Aオート (f/1.8)
●ISO100

かつて肖像写真が世の中に出始めた当時、その人の個性を表現しようと、脚色もせずに背景もシンプルに撮ったジュリア・マーガレット・キャメロン(イギリス)という女性写真家がありました。この写真も少し緊張したような表情と中途半端に入ってしまった左手は、一見マイナスポイントに思えますが、ある種の馴れ合いではなく、その人の内に秘めた感情を見つめようと真剣に相對していることを想像させます。



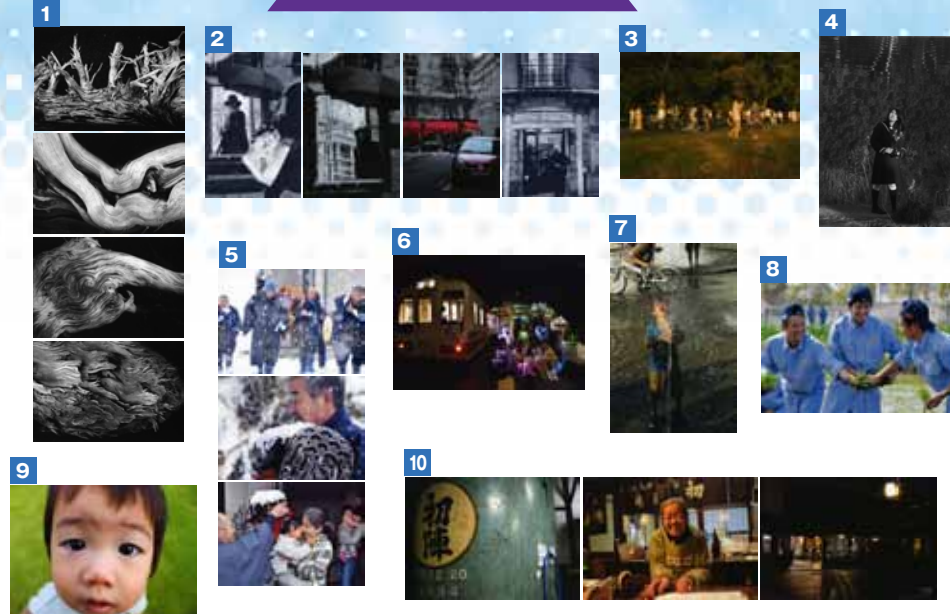
アドバイス



●「はるか遠い記憶
～奇想天外～」
根佐貴之
長野県・佐久長聖高等学校

アフリカのナミビアをバイクで旅したようですね。たくさん写真が寄せられました。特有の植物とバイクを入れた旅の記録、いや記憶。きつかけがえのない時間だったでしょう。しかし、ここではカメラが少し補助的な印象があります。空間をいかに描くのか、カメラアングルはいかになど、独自のアプローチを期待したいところです。それと、写真をもっと大きくしましょう。

もう一息で入賞



- 1「流木」滝澤 忠 新潟県立上越総合技術高等学校
2「巴里の街角」山口晴久 大阪府立成城高等学校
3「花火大会の後で」山本敏雄 北海道札幌月寒高等学校
4「写真少女」豊嶋弘文 香川県立坂出高等学校
5「歌書神楽」逢下才子 岩手県立黒沢尻北高等学校
6「ガンバレ三鉄」阿部雄至 岩手県立宮古北高等学校
7「暑い日」吉田允彦 大阪府立生野高等学校
8「ツナグ」佐伯幸治 宮崎県立宮崎農業高等学校
9「純」小山晃俊 香川県立坂出商業高等学校
10「老舗酒蔵」井上雄三朗 千葉県立松戸高等学校

続報!

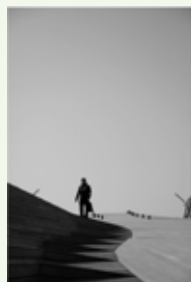
先生方も活躍!!

TopEye
高校生写真サミット

1/31～2/2開催の「第2回TopEye高校生サミット」(2月号で詳しく紹介!)では、顧問の先生も撮影会に参加し、写真の腕を競っていただきました。その入賞作をここで発表!カンロクの作品、しばしご鑑賞を。



福井県立丹生高等学校
竹内 祐子先生



静岡県立下田高等学校
山口 哲先生



八代白百合学園高等学校
中西 琢也先生



埼玉県立芸術総合高等学校
森 俊成先生



愛知県立津島東高等学校
森岡 剛洋先生

入賞枠が拡大!

フォトフォトサロン 作品大募集!

今年度から「もう一息DE入賞」を「準佳作」として入賞扱いに。正式に賞状を発行します。入部したてのキミも、先輩と一緒にぜひ出品を!

入賞者に豪華プレゼント!!

TopEye賞

賞状&
ニコンデジタル
一眼レフカメラ



準TopEye賞

賞状&
ニコンデジタル
コンパクトカメラ



入選

賞状&ニコンオリジナルバッグ

佳作

賞状&ニコンオリジナルポーチ

準佳作

賞状

今年度
から

2014年度
フォトフォトサロン 応募締切は



○今すぐ、カレンダーに印をつけよう!

キミの作品が「TopEye」表紙を飾る!

キミの作品を全国の中高生にアピールだい!!

佳作以上の作品はWEBにも掲載!

親戚や友達、そして世界の人々にも見てもらえるよ!

ニコンイメージング「TopEye」サイト
<http://www.nikon-image.com/activity/topeye/>

東京、大阪で入賞作品展開催!

佳作以上の作品をプロラボで再プリント、額装して展示。

ニコンの伝統あるフォトコンにノミネート!

TopEye賞作品は、次年度の「ニッコールフォトコンテストU-31部門」にノミネート。さらに大きな賞をもらえるチャンス!

今年度の日本一は…キミの写真部!?

2014年度TopEye
フォト
フォト
サロン 年度賞

試合開始!

個人技の写真が「チームプレイ」になる、それが学校対抗の「年度賞」!
フォトフォトサロンでの入賞実績や出品頻度をポイント換算し、
1年間の上位3校を決定するよ。

第1回締切は5月10日。写真部一丸となって、さあスタートダッシュだ!!

4 回分のポイントを
学校ごとに集計して、
「年度賞」
決定!

最優秀賞

賞状、楯、
ニコンデジタル
一眼レフカメラ「D7100」
エプソン
プリンター「PX-5V」

合計ポイント最上位の学校

優秀賞

賞状、楯、
ニコンデジタル
一眼レフカメラ「D5300」
エプソン
プリンター「PX-7V」

合計ポイント第2位の学校

敢闘賞

賞状、楯、
ニコンデジタル
一眼レフカメラ「D3300」
エプソン
プリンター「EP-4004」

合計ポイント第3位の学校

※賞品の機種は変更となる場合があります。※ポイントが同点となった場合、「皆勤校ポイント」を除いた「入賞ポイント」によって順位を決定させていただきます。

さらに!

「TopEye高校生写真サミット」参加のチャンス!!

今年2月、15校の写真部を招いて楽しんだ「TopEye 高校生写真サミット」。
本年度も、フォトフォトサロンで頑張ってくれた写真部をご招待する予定です!!



有名写真家と
一緒に撮影会!



写真家による
セミナー開催!



写真仲間が広がる
懇親会!

(2014年2月の「サミット」より)

「サミット」ご招待予定の
写真部は??

- 12/15発行号時点の年度賞ポイント上位10校
- さらに年度賞ポイントと地域性を考慮して5校
- 上記の部員さん3名、顧問の先生1名をご招待する予定です。

来年2月、横浜で待ってるよ!!

高校写真の
パワー
満開御礼!

2013年度
TopEyeフォトフォトサロン入賞作品展
第2回
TopEye高校生写真サミット入賞作品展



bis 新宿
3/25～3/31 ニコンサロン bis 新宿
3/24～3/31 横浜市庁舎 (サミット作品のみ)



1年間の集大成「フォトフォトサロン」と、冬の大会「サミット」から生まれた力作が、東京と横浜で好評のうちに展示されました。5月には大阪も巡回します!

ゴールデンウィークは大阪へ!

5月1日(木)～5月7日(水)
ニコンサロンbis大阪

@裏表紙で告知中!!

フォトフォトサロンの宛先はこちら!



〒354-0045
埼玉県入間郡三芳町上富1141-10
「ニコンカレッジ・
TopEye フォトフォトサロン」係

※TopEye 編集部宛とは異なります。ご注意ください。

応募ルール

★用紙・サイズ確認をしっかりと!

厚手の写真用紙を使い、プリントサイズは[キャビネ・2L 判以上、四つ切・A4 サイズまで]。組写真も1枚ごとにこのサイズだよ!

★応募は未発表作品のみ!

文化祭や校内展など、校内発表のみの作品はOK。

★二重応募はダメ!

他のコンテストに出品した作品は審査対象にできません。

★組写真は4枚まで。並べ方も注意!

組写真は1列に配置。
「ヨコ位置・タテ位置」のどちらかに統一してね。



★組写真は並び順を明記!

「上/中/下」「左/中/右」など、鑑賞の際の並び方がわかるように。なるべくつけて送ってね!

★肖像権・著作権に注意!

人物や誰かの著作物を撮影した作品は、その方の了解を得て応募してね!

★応募用紙は最新版を!

本誌最新号に同封の用紙(コピー可)や、トップアイWEBサイトからダウンロード!

★応募用紙の記入漏れに注意!

「カメラ機種名」や「撮影データ」も忘れないで!

★早めに送ろう!

郵便なら1～2日、メール便だと4日ほどかかる場合あり。締切日ギリギリにならないよう、余裕をもって送ってね!

「今」だからできる 写真の楽しみ方

「フォトフォトサロン」の審査員を 2001 年から務められた大西みつぐ先生が、今回で退任。創作活動や雑誌写真など、幅広く活躍中の小林紀晴先生にバトンタッチされることになりました。今回はスペシャル企画として、両先生の対談を実現！写真に取り組む若い世代への思いや、フォトフォトサロンへの期待を語り合っていました。

制約があるから面白いフィルム写真 表現へ気軽に入っていけるデジタル写真

小林：中高生の写真を審査するのは初めてになるんですが、一般のコンテストとは違って、撮影の現場は学校にまつわる場面が主という点がまず新鮮です。ある限られた条件の中でどんな表現が追求されているのか、興味を感じています。

大西：そうですね。学校の写真部はもともと、節目ごとの行事の記録を撮ることで成立していた面があります。それに加えて撮影会、東京だと鎌倉や川越などの文化財を見に行き、建築や仏像などを撮ったり。トップアイ初期の80年代頃は、もっぱらモノクロの暗室作業の世界で、年配の写真愛好家のような老成された感覚があったと思います。90年代頃からカラー写真を自然に撮る若者が増え、モノクロと互角に勝負するようになってきた。僕が審査員を始めた頃から、ビビッドな色使いの感覚を活かした写真が多くなりましたね。そのぶんモノクロはパワーが下がり、暗室での処理を充分に経ず、絵が出ただけで満足して送ってくるレベルが増えてきたのが残念ではありましたが。

小林：僕が写真を始めた頃も、フィルムカメラで9割がモノクロでした。中にはポジフィルムでカラーを撮るといってお金持ちもいましたが（笑）。今はデジタルが主流で、撮影後の加工もOK。意図しないものが写ってしまっても消すことができる。

制約がなくなった分、選択の幅があり過ぎて迷う部分はあるかも知れませんが、自分が表現したい世界に心置きなく取り組めるという強みはあるでしょうね。この辺は判断が難しいというか、自分が経験してきた時代と簡単に比べてはいけないんだろうと思います。

大西：暗室とは違う楽しみが生まれているとは感じますね。過去の応募作にもありましたが、シャッターを開放にしてペンライトで「スペシウム光線」を描くみたいな遊びを、その場で確かめながらつくり込む。そうした作業が簡単にできる強みはあるでしょう。

最近、ある雑誌が「ほめられる写真」という特集をやっていました。楽しみながら撮った結果を誰かに見せ、ほめてもらいたい。同意、共感への欲求があるのかなと。

小林：共感を求める気持ちも大事だと思いますが、周りの目とか流行りに変に影響されず、素直に心の内を写真にしてほしい気はします。うまい、へた以前に、伝わるものはあるはずですから。

大西みつぐ



人や地域、社会とのつながりを 写真を通してつくっていく喜び

大西：今は、「写真はカメラで撮るもの」という時代じゃない。ケータイやスマホで撮る「写真」もある。同時に、SNSなどのネットワークで発表し、やりとりすることも増えていますね。そんな今、あえてカメラで撮り、プリントする写真とは？ということについて、じっくり考えないといけないと思います。フォトフォトサロンもそのうちネットワーク化するかも知れませんが、今は紙にプリントして提出する形をとっています。カメラを持って被写体に向かうことから、作品としてプリントするまでの過程を、一人ひとりがしっかり意識してほしいですね。

小林：僕は高校の頃「帰宅部」だったんで（笑）、写真に取り組む高校生たちの気持ち、意気込みというのがどんなものか分からないんですが、楽しみは苦しみと表裏一体じゃないかと思うんです。たとえば野球部なんか野球が好きだから入るんだけど、甲子園を目指す



「今の時代」「今の年齢」にしか撮れない写真とは？過去のトップアイを見ながら、話は広がりました。

知って、村の記録を残すために60歳を超えてからカメラを始めた。亡くなるまで30年近くの間、人々や建物、祭りや風習などを撮り続け、8万枚もの写真を遺しました。

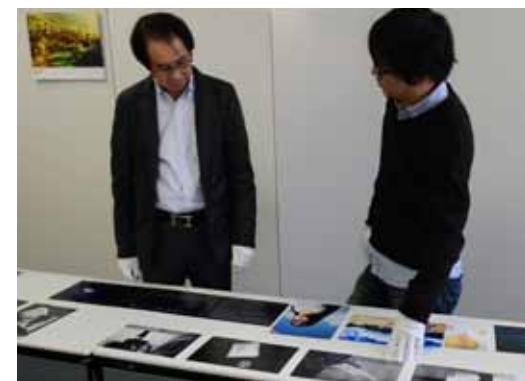
それから、「写真の町」として知られる北海道の東川町にも、昭和初期から70年間、地元を記録し続けた飛騨野数右衛門さんという方がいた。役場に勤めながら「弁当箱とカメラは離れたことがない」という方で、町と時代の膨大な記録を残しました。若い時に3〜4年でもカメラをしっかりとやると、ファインダーを通して地元に関わるということが、自然にできるようになります。将来写真の道に進まないにしても、それは素晴らしいことです。もちろん「写真家になる！」という気概を持つ高校生が増えるのも、うれしいことですが。

中学生、高校生だから撮れる 「大いなる失敗作」を！

大西：では、審査員をバトンタッチするにあたり、読者の皆さんにごあいさつしたいと思います。長年審査員をやっているうちに、応募者の皆さんは僕の「クセ」をつかみ、僕が選びそうな作品を送るようになってきたくらいがあります（笑）。審査員が代わるのを機に、そうした対策を一度白紙に戻し、自分が見せたいものを作品にしてほしいと思いますね。ぜひ頑張ってください。

小林：僕はやはり、その人の感情や気持ちが見える写真が見たいと思っています。フォトフォトサロンに参加する皆さんって、写真を始めてから何年も経っていない。そうした、中学生や高校生の年齢でしか撮れない写真というものが、やはりあると思うんですね。元気だけでなく、思春期の危うい気分とか、揺れてる感じ。そういうのって、写真にも出せると思うんですよ。構図とか、設定とかと言った大人の常識にとらわれない、何だか安心できない写真が見たい。「大いなる失敗作」というか（笑）。そんな作品に期待したいと思います。一緒に楽しみながら、頑張ってください。

いかがでしたか？皆さんの写真への熱い思い、小林先生もきっと受け止めてくれると思います。6月号からいよいよ、小林先生による2014年度のフォトフォトサロンがスタート。張り切ってご応募を！



今回はお二人で審査を進行。それぞれに「気になる作品」は違うようです。

すとなれば、やっぱり苦しいはずですよ。まあ、野球と比べちゃいけないか（笑）。

写真ということ言うなら、作品をつくる楽しみの他に、誰かに見せて喜んでもらう、またはモデルになってくれた方に作品をあげる喜びがありますよね。そのためには多少の苦労、努力をする必要があるはず。コミュニケーションの道具として、写真を楽しんでほしいと思います。人と出逢い、親しくなるきっかけとして、写真はとてもいい。農作業している人などに話しかけるのでも、カメラを持っていると近づきやすいですよ。それに、ファインダーをのぞくことで、今まで気づかなかった風景に改めて心を惹かれることもあります。そうした地域、社会とのつながりを、写真でつくっていく喜びがあると思います。

大西：「地域発」が叫ばれている現代、そうした視点は大切です。岐阜県に増山たづ子さんというアマチュア写真家がいまして。普通のおばあさんなんですが、地元の村がダム建設で水没することを

11ページの「視想講座」にも小林先生が登場！

がんばれ写真部!!

2月のTopEye高校生写真サミットに参加してくれた福井県立丹生高等学校。聞けばこのところ、実力をバンバンつけまくっている写真部というじゃありませんか。確かに昨年度のフォトフォトサロンでも入賞2回など、活躍が目立っていましたね。ならば今後の進化を見極めるべく、取材決行!しかしてその実体は…(えっ。コスプレ部?!)

福井県立丹生高等学校



後列左から:松宮くん、酒井くん、稲村くん、西尾くん、上野くん、山本くん、木下くん、南くん
前列左から:顧問の竹内先生、小辻さん、横山さん、児玉さん、梶川さん、木下さん

部員: 部員:11名(2年2名、3年9名。1年勧誘にガンバリ中!)
創部年: 高校創設の1948年から活動開始!歴史ある部なのだ
活動: 平日は毎日プリントや作品の品評会!土日は福井県の名所を撮り歩き!文化祭や作品展示にいろいろ工夫!(本文参照)
機材: デジタル一眼レフカメラ9台(自分で所有の部員も)、フィルムカメラ5台、レンズ多数。プリントはA4用とA2対応が1台ずつ。
部費: 生徒会の年予算9万円でカメラ・プリンタなどの備品購入。部員から年6千円徴収してインク・用紙などを購入。
部費節約のヒケツ: インクや用紙は量販店のセール狙いや、単価が安くなるまとめ買いでやりくり!



部室の表札は、フィルム写真の印刷紙を使ったフォトグラム!



校内に入賞作などの展示がズラリ!

楽しさの達人たち、
実力急上昇中!!



戸締まりはまかせろ! 歩く責任感、松宮くん。



注目だよ! 丹生高校写真部の実績

- 2013年度**
- ◎フォトフォトサロン/第167回佳作、第169回入選
 - ◎TopEye高校生写真サミット/優秀賞、顧問優秀賞
 - ◎第61回ニコールフォトコンテスト「U-31」入選3点
 - ◎第9回アイデム写真コンテスト/優秀賞
 - ◎JAMCA PRIZE2013/入選
 - ◎全日本写真展2013高校生の部/入選
 - ◎第98回二科展/入選
 - ◎第37回全国高総文祭/入選
 - ◎音を感じる写真コンテスト/佳作2点
 - ◎第14回上野彦馬賞/佳作
 - ◎第35回よみうり写真大賞/佳作
- 2012年度**
- ◎第1回日韓高校生フォトコンテスト/入選
 - ◎毎日写真コンテスト/入選



屋上で、写真展のための撮影を行いました!

顧問の竹内先生。写真歴7年、入賞多数。明るさと行動力で部員のノリに応える!



「サミット」ではこの美しい作品で顧問優秀賞!

たくさん撮って、たくさん展示!!

気になる急成長のヒミツですが、どうやらポイントは2つ。まずは意欲的な「展示」。たとえば学校玄関や階段踊り場で力作や入賞作を常時アピールし、中高一貫の連携中学校にも時々作品を展示。文化祭では、1人1点の作品の中から来場者に「推しフォト」を選んでもらう「写真部総選挙」を敢行!3月には校外展も開催したそうです。もう1つは「ランキング」。部員の月ごとの撮影枚数を計算し、上位者に部のカメラの使用権を割り当ててやる気アップ!(時々じゃんけんやくじ引きで「運の力」も磨く-笑)観せまくり&撮りまくりのスパイラルが、入賞率を押し上げている模様!



木下さん撮影



受賞のたびに地元の有力新聞で紹介され、地域での存在感もアップ!

思わず長居したくなる「良い湯かげん」の部?!

受賞が増えて、校内外の注目度が上がってきたものの、そこはやはり高校生。公園ではきっちり童心に返り、雪が積もれば撮影会は雪合戦大会に!部室のおしゃべりタイムもしっかり楽しむ。その他、クリスマスにはサンタ・ハロウィーンにはドラキュラと、なんだかコスプレ部の様相も!?他部との掛け持ちも、写真部メインにやってるパターンが多いとか。どうやら、いろんな工夫や努力の前にまず「居心地の良さ」があるよう。確かに大事だね!ウン。



地区の祭で子供を撮ったり、遊んだり。



南くん撮影

「接写」にじっくり取り組み中。動画も撮りたい!!

美術部兼部

パネル切りの達人!「師匠」と呼ばれてます

JRC部兼部 ボランティアしながら、お年寄りの暮らしを撮ってます。

※Japan Red Cross: ボランティア活動を行う部。



稲村くん撮影



西尾くん撮影

写真追求の姿勢も忘れない!

モノクロフィルム写真を学んだ竹内先生の影響あつた、部員さんもモノクロでの受賞が多いとか。でも授業は通常7限のため、部活は4時半以降。「暗室作業もやりたいたんですがなかなか…」そこで目をつけたのがプリンターによるモノクロ出力機能。焼き込み、覆い焼きなどの暗室手法を再現できる機種を駆使して、「理想の黒」を追求!今後フォトフォトにも、味のあるモノクロ作品が寄せられそうです!



立派な暗室、あるんです!



フォトフォト第167回佳作!

風景写真を極めたくて、卒業後もまだまだ挑戦!

オーケストラ部兼部



児玉さん撮影



木下くん撮影



なぜか「ジョジョ」がブーム!?

でも手塚治虫もスキ♡



近畿高総文祭福井大会へ向けて、技術向上中!!

福井県高等学校文化連盟写真部会事務局長 齋藤 正純

平成24年度はNHK福井とタイアップして、各高校の写真部の作品をシリーズで放映。その効果もあって、県内の写真部活動が活性化し、部員も増加しました。今年度はいよいよ近畿高等学校総合文化祭福井大会。成功を目指して写真技術をレベルアップすべく、昨年度は次のような取り組みを行いました。

- 5月/第1回写真技術講習会と撮影会
- 9月/第2回写真技術講習会と撮影会、県高総文祭の予備審査と講評会
- 10月/県高総文祭写真展の開催と講演会、講評会 ●2月/第3回写真技術講習会



「がんばれ写真部」に登場しませんか?

このコーナーに出てくれる学校を大募集!! 編集部が学校に行って取材します。詳しくは裏表紙をみてね!

わくわく デジタル写真ゼミ

第6回

一時限目

ポートレート上手はボケ上手!! by レン子

どれ、カメラの設定を見せ
てみて。…ほう。やっぱり
「AUTO(フルオート)」で
撮ってるな。



いろいろいじるの面倒
くさくて(ハハ;)性能が
いいカメラだからいい
かなあって。

デヘベロ



うふ、モデルさんに「演技指導」し
ちゃったわ。柱の向こうからのぞ
いた笑顔さいごー!…でもちょっ
と背景がゴチャとして、せっかく
の笑顔が引き立たないわ。
このアングルは変えたくないし、
うーん。



「フルオート」は、絞りの大き
さやシャッタースピードを自
動で決める。この場合、絞り
値が「F11」と大きすぎて、背
景もくっきり写ってしまい、
「主役」がわからない状態に。

わかるけど、そこから一步踏み出してみない?
①露出モードを「A(絞り優先オート)」にする。
②絞り値の「小さな数字」に設定する。
それだけ!



再チャレンジの1枚!

うお!?柱と背景がボヤッ
とって、おねえさんが主役
になったわ!!
これよこれ!



重点講義

44感の「ボケ」をつくるコツ!

- ◎背景はできるだけシンプルな場所を選ぼう!
- ◎絞り値を小さな数字に設定!
- ◎ボケが出すには、f値の小さな単焦点レンズや望遠レンズがおすすめ。
- ◎ズームレンズなら「望遠側」を使おう。

絞り値を「F1.8」に変えて撮ってみた。これだけで写真の印象、全然違うね!!

復習ガイド!

絞り値と被写界深度の関係については
2011年10月号の「デジタル写真スクール」に詳細あり。

「わくわく」なポートレートを撮ろうよ!

春が来て、レン子ちゃんとシャツ太くんも意欲全開!!今回はポートレートに挑戦だ。友だちだって知り合いだって、キレイに、かわいく、カッコよく撮ってあげたほうが、喜ぶに決まってる。そのために是非覚えておきたい「コツ」を先生が伝授だ!

二時限目

あえて太陽に背を向ける! by シャツ太

モデルさんを撮影するって緊張ですね。失礼がない
ようにしないと…ところで、明るい雰囲気になろう
って、太陽に向いてもらったんですけど、なんか「ホリが深
すぎ」感が…。この撮り方、失礼だったかなあ?



太陽に背を向ける「逆光」だと暗く
なっちゃうんで、と思ったんですけど。



「順光」で撮ってみたわけだね。いい天気
の感じは出たけど、顔にさしてる「影」を
なんとかしたいよね。

それでもあえて逆光を選ぶ。これが
ワンランク上の方法だ(笑)。



鼻やほっぺの下に影ができて、なんか残念。太陽に向かうと
まぶしいので、表情もイマイチに。



逆光撮影のワザ2つ!!



光を操るワザ① 「レフ板」を使う!

プロはここで「レフ板」という反射板を使って顔に光を
当てる。自然なやさしい表情になるね!学校や文具店
にある白い模造紙や、白いハンカチでも代用できるよ。

光を操るワザ② カメラ内蔵フラッシュを使う!

フラッシュって夜使うものと思ってない?実は逆光でポ
ートレートを撮る時も便利だよ。専門用語で「日中シンクロ
撮影」と言うのだ。

逆光撮影のまとめ!

- ◎レフ板(や模造紙など)で太陽光を反射させ、影の部分に当てる!
- ◎内蔵フラッシュをONにして撮影するのもGOOD!
- ◎その際、画面の中に太陽を入れないよう注意!!

さらにフクフクなコツ×2

- ◎ピントは「目」にばっちり合わせる!表情の表現力が違ってくるぞ!
- ◎ニコンのカメラなら「ピクチャーコントロール」の「ポートレート」モードを試してみよう。肌や髪のかんたん質感が出せるよ!

復習ガイド!

2012年4月号の「デジタル写真スクール」にも、
ポートレート写真のワザが載ってるよ。ぜひCHECK!



よし、次回は人物やペットの
「スナップ写真」だ。
街や公園で、人に声かけて
撮るのも楽しいよ!





「遠くから来た舟」より

僕の場合、若い頃に写真にのめり込むきっかけや、写真家への夢があったわけではありません。ただ、大学で写真を専攻した当初から「他に何もできない」と思っていたので、いかに写真にしがみつ

いて生きていくかをずっと考えてきました。ニューヨークに1年余り住んでいた時、あの9・11同時多発テロが発生。直後に炭疽菌という病原菌によるテロも起きました。価値観が揺るがされました。今日という日は同じような明日につながっていくと、誰もが何となく信じている。それが思い込みに過ぎないんだと感じたんです。そして帰国後に故郷の八ヶ岳を撮影した時、あたり前に感じていた風景がとても美しく見えた。そこから故郷の様々なものを見つめ直し、カメラを向けるようになりました。

たとえば、地元の諏訪地方で行なわれる御柱祭。千数百年の間続いている祭ですが、撮るうちに考えたことがあります。写真は今、この場所を捉えるものだけけど、こうした神事は古代の人々の姿や意思、感情を撮っているとも言える。そこから興味が深まり、日本各地に残る神事を記録する「遠くか

ら来た舟」というシリーズに発展しました。

最近では八ヶ岳の「yabu」(藪)をテーマに撮っています。夕方、山に西日が当たり、そこにある藪がまるで発光しているかのように見えた。その美しさに心を捉えられ、4年前から冬の時期を選んで撮影しています。

僕の場合、大体5年ほどで一つのテーマに区切りがつきます。すると同じ場所や被写体でも別の面が見えてくる。故郷のシリーズはその繰り返しです。今後もうずっと撮るし、撮り尽くすこともないでしょう。

退屈な日常にも撮影のきっかけは隠れています。たとえば通学路の気になるものや好きな場所。家族の顔だって、正面切って撮ったことは少ないのでは。うまく撮れるかどうかはともかくシャッターを押し、その写真を前に、自分はなぜこれが好きなのか考える。何か発見があるはずなんです。

流行や人の目など気にすることはありません。僕も御柱祭を撮り始めた頃は友人から「そんな年寄りみたいなものを撮るなんて」と言われたものです。自分がいいと思っただけなら、惑わされず進んでください。

小林紀晴

Profile

(こばやし・きせい) 1968年長野県生まれ。東京工芸大学短期大学部写真科卒業。新聞社カメラマンを経て、1991年よりフリーランス。1995年に「ASIAN JAPANESE」でデビュー。1997年「DAYS ASIA」で日本写真協会新人賞受賞。2000年12月から02年1月までニューヨーク滞在。現在、雑誌、広告、TVCF、小説執筆などボードレスに活動中。写真集に「homeland」、「days new york」、「SUWA」、「はなはねに」などがある。他に「ASIA ROAD」、「写真学生」、「父の感触」、「十七歳」など著書多数。2013年写真展「遠くから来た舟」で第22回林忠彦賞受賞。東京工芸大学芸術学部写真学科教授。



FRIEND'S EYE 写真教室レポート TopEye in 北海道!! 出張デジタル写真ゼミ

この3月、TopEyeの写真ゼミは北海道の2校に出張!北海道の美しい自然を撮り続ける浅野久男先生を講師に迎え、講義に撮影実習、そして作品講評と、熱のこもった1日でした!これからご希望の学校へとしどし出張予定!!ぜひお申し込みを。



3/9 北海道恵庭北高等学校



3/16 北海道札幌工業高等学校

参加校募集

あなたの街にも出張します!

お申し込み、お問い合わせ
ニコトップアイ編集部(株式会社ニコイメージングジャパン)
E-mail: topeye@nikon.com

ニコンが特別協賛! スマイルとうほくプロジェクト 中学生による被災地訪問レポート、WEBで公開中!!ぜひ見てね!

2014年も中学生記者が被災地の『いま』を取材します! 写真で綴る、被災地の『いま』を伝えるプロジェクト



©Natsuki YASUDA / studio AFTERMODE



「写真で綴る、被災地の『いま』を伝えるプロジェクト」は、東北の3つの新聞社、岩手日報・河北新報・福島民報が手を取りあって、被災地に笑顔を広げ、日本中に東北の元気を発信していく運動、「スマイルとうほくプロジェクト」の活動の一環としてはじまりました。

詳しくは、スマイルとうほくプロジェクトホームページをご覧ください。

[写真で綴る](#) [検索](#)

(株)ニコンは、スマイルとうほくプロジェクトに特別協賛しています。

Nikon News

カメラボディの価格は
すべてオープンプライスです。



新発売

D4s

FXフォーマット
有効画素数 1623万画素
ISO感度 160~25600
高速連続撮影 約11コマ/秒
フルHD 1080/60p

完成度はさらなる高みへ。

- 極限の状況でより確実な捕捉性能、追従性能を発揮する新次元のAF
- 解像感と高感度性能を両立させた新しいニコンFXフォーマットCMOSセンサー
- 健康的な肌の質感を再現する正確なホワイトバランス
- 画像処理エンジンEXPEED 4が実現する、極限までノイズを低減したISO100~25600全域でのクリアな画質



Nikon 1史上最高画質。
一瞬に応える超高速オートフォーカス。

Nikon 1 V3 4月発売予定

CXフォーマット
有効画素数 1839万画素
ISO感度 160~12800
高速連続撮影 約20コマ/秒
フルHD 1080/60p

- 171点のアドバンスハイブリッドAFシステム
- 速い動きもより正確に捉える105点の位相差AFエリア
- オートフォーカス追従で世界最速約20コマ/秒の高速連写性能
- 世界最短の撮影タイムラグ*
- 新開発画像処理エンジンEXPEED 4A

*2014年3月13日現在、発売済みのレンズ交換式デジタルカメラにおいて、1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOMのワイド端使用でシングルエリアAF時、ニコン調べ。



パウダライズズーム搭載
世界最軽量*の
薄型3倍標準ズームレンズ。

1 NIKKOR VR 10-30mm f/3.5-5.6 PD-ZOOM
希望小売価格: ¥37,000 (税別)

*2014年3月13日時点、発売済みのレンズ交換式デジタルカメラ用のパウダライズを搭載したズームレンズにおいて、ニコン調べ。



世界最小・最軽量*
810mm相当の
超望遠ズームレンズ。

1 NIKKOR VR 70-300mm f/4.5-5.6
希望小売価格: ¥129,000 (税別)

*2014年3月13日現在、35mm判換算で600mmを超える、発売済みのオートフォーカス機能付きデジタルカメラ用のパウダライズを搭載したズームレンズにおいて、最小状態での体積比較。ニコン調べ。

第62回ニッコールフォトコンテスト 第4部『U-31』作品募集開始!!

大きな舞台が、
キミを待ってる!

ニコンの由緒あるフォトコンの「若者限定」部門。
トップアイの読者や元読者もどんどん出品、入賞していますよ!
今これを見ているキミ。フォトフォトサロンとともに、ぜひ応募を!
(30歳以下の先生方もご応募よろしく!!)

応募資格 30歳以下の方
(2014年3月末時点)

大賞賞金 30万円

大賞賞品 ニコンD610
レンズキット

応募締切 7月7日(月)必着



今号同封の
チラシ裏面に
応募票に
なっているよ!

詳しくはニコンイメージングのWEBサイトで!

ニッコールフォトコンテスト

検索

www.nikon-image.com/activity/nikkor/contest/nikkor/

**みんなで! 目指せ栄冠★『U-31』部門
TopEye配布校【一括応募】制度**

本誌「TopEye」をお届けしている学校は、この「U-31」部門に学校単位
で一括応募ができます!(WEB 応募は除く) さっそく先生と相談して部員
みんなで応募しよう!!

※詳細はニッコールクラブ事務局
(TEL: 03-3769-7951) までお問い合わせください。

2013年度フォトフォトサロン

「TopEye賞」作品もノミネート!



第167回

「これからも」
桑田有理さん
(熊本県・八代白百合学園高等学校)



第168回

「教室の花子さん」佐藤優妃さん
(新潟県立六日町高等学校)



第169回

「あの日から」塩沢絢佳さん(長野県・飯田女子高等学校)



第170回

「祈り」
鬼塚花凜さん
(熊本県・
八代白百合学園高等学校)

皆さんの
投稿歓迎!!

投稿の際には
忘れずに書いてね!

- ①学校名・クラブ名
- ②あなたの住所
- ③氏名
- ④電話番号
- ⑤使用可能なメールアドレス

宛先

〒104-0045 東京都中央区築地 4-3-11 アクアビル 201
(株)アドバタイズ TopEye 編集部宛
FAX (03)5148-0566 E-mail: topeye@nikon.com
※フォトフォトサロンの宛先とは異なります。ご注意ください。

Nikon Salon Information

<http://www.nikon-image.com/activity/salon/>

赤い字は、
トップアイ仲間の
作品が見られる
写真展だよ!

銀座ニコンサロン

(03)5537-1469
10:30~18:30(最終日は15:00)

- ニコンサロン特別展 菅 洋志
「一瞬のアジア people and nature in harmony」 4/9~4/22
- 金村 修
「Ansel Adams Stardust (You are not alone)」 4/23~5/6
- 第33回土門拳賞受賞作品展 桑原史成「水俣事件」 5/7~5/20
- ニコンサロン特別展
石川文洋「戦争と平和・ベトナムの50年」 5/21~6/3
- 太田 昭生「溶融の時(ハンセン病療養所大島)」 6/4~6/17

新宿ニコンサロン

(03)3344-0565
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 小松 透「EVENT HORIZON」 4/15~4/28
- Juna21 浅井寛司「標高4000Mの祈り」 4/29~5/5
- 第20回酒田市土門拳文化賞受賞作品展
山本真弓「風の民」 5/6~5/19
- Juna21 山下隆博「心の温度」 5/20~5/26
- 東京写真月間2014「アジアの写真家たちミャンマー」 5/27~6/9
- 高田啓一「夢を追いかけて」 6/10~6/23

ニコンサロンbis新宿

(03)3344-0565
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 東日本読売写真クラブ
「2014東日本読売写真クラブ連合展」 4/15~4/21
- 楠瀬彰彦「Natural Face in Vietnam」 4/22~4/28
- Juna21 河田幸大「People are People」 4/29~5/5
- 森脇 亨「ときと」 5/6~5/12
- 菊嶋俊俊「四季の浅間山」 5/13~5/19
- Juna21 森田剛史「キノコ」 5/20~5/26
- ニコンコレッジ・エキスパートコース
第1期卒業作品展「魅力的な風景」 5/27~6/2
- 中島美智子「MIZUMO」 6/3~6/9
- 青山茂明「失われゆく原風景を求めて」 6/10~6/16
- ニッコールクラブ・海外撮影ツアー作品展
「地中海の青い風と色彩あふれる南イタリア」 6/17~6/23

大阪ニコンサロン

(06)6348-9698
10:30~18:30(最終日は15:00)

- Jui「Catching the Bird」 4/10~4/16
- Juna21 角田奈々「若いマンゴ ～ベトナムの地に触れて～」 4/17~4/23

- Juna21 武山友子「甘い憂鬱」 4/24~4/30
- ニコンサロン特別展 菅 洋志
「一瞬のアジア people and nature in harmony」 5/1~5/14
- Anat Parnass「夜気: Stillness of Night」 5/15~5/21
- ゴトーマサミ「Drifting」 5/22~5/28
- 大阪写真月間2014「写真家150人の一坪展」 5/29~6/4
- 第33回土門拳賞受賞作品展 桑原史成「水俣事件」 6/5~6/18

ニコンサロンbis大阪

(06)6348-9698
10:30~18:30(最終日は15:00)

- 石田 榮「明日への希望を求めて働く一世紀前の証」 4/10~4/16
- Juna21 岡本健太「virtual colony」 4/17~4/23
- Juna21 神崎 仁「Our Street View」 4/24~4/30
- 2013年度TopEyeフォトサロン入賞作品展
第2回TopEye高校生写真サミット優秀作品展 5/1~5/7
- 和田喜博・マサ子「コノ世ノハナ」 5/8~5/14
- 柿本完二「ふるむ」 5/15~5/21
- 菊込 佑「絆の絆-7人の海女」 5/22~5/28
- 大阪写真月間2014「写真家150人の一坪展」 5/29~6/4
- 大阪写真月間2014「ハイスchoolフォトアワード」 6/5~6/11
- 京都新聞出版センター「花と(仮)」 6/12~6/18

スケジュールは変更になる場合があります。詳しくは各サロンにお問い合わせください。

見てね!
ネットでもTopEye

TopEye誌面のダウンロードや、フォトフォトサロン受賞作品の鑑賞ができます。
URL: www.nikon-image.com から「写真文化活動」>「写真部応援マガジン TopEye」へどうぞ!

「Top Eye」へのお問い合わせはこちらまで。

ニコントップアイ編集部 (株式会社 ニコンイメージングジャパン)

E-mail: topeye@nikon.com
TEL: 03-3769-7960